

昭和50年代・60年代

児童生徒数の移り変わり

	小学校	中学校
昭和60年	106,608	52,424
昭和62年	103,071	54,428

山形県教育関係者名簿より

昭和60年、男女雇用機会均等法が成立し、女性の社会進出に拍車をかけた。昭和63年に青函トンネルや瀬戸大橋が開通した。



イモは煮えたかな?!



素足でがんばる運動会



煙突があった職員室



この頃から本格化した宿泊学習



新しい楽器を普及するために始まった<鍵盤ハーモニカ指導者講習会>

昭和30年代に誕生した鍵盤ハーモニカは、昭和44年（1961）改訂の小学校学習指導要領のもとで、一気に普及し始めました。それまではカスタネットやハーモニカが使用されていたので、まず先生方に使いこなしていただくことが求められていました。県音楽連盟会長伊藤文雄先生をはじめとする音楽教育関係の先生方との相談の結果、昭和52年（1977）に、第1回の指導者講習会が開催されました。1泊2日の日程で、音楽教育研究会の30余名の先生方が対象でした。この先生方がその後、講習会の講師を務めてくださり、県内4会場での開催を支えてくださいました。身近な先生が講師となる講習会は、県内の音楽教育研究会の先生方から多くの支援を受けながら、全国的にも高く評価されたそうです。学校で鍵盤ハーモニカを学んだ世代の方が小学校の先生になられるようになった頃から、「アンサンブル・器楽講習会」と名称を変えて現在に至っています。